

科目名 (科目番号)	リハビリテーション 看護学 (074321)	教員名	吉田和美、日向野香織 宮本まり子、須田香奈子 岡嶋妙子	学科等	看護	必修	履修年次	3
			林隆司 縄井清志 椎名清和、長島緑	曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				オフィスアワー	別紙参照	各教員研究室		
授業概要	環境や健康状態の変調、身体機能の障害により日常生活や地域での活動・参加を妨げられた患者や家族の療養環境の調整、廃用性機能低下や合併症予防、障害受容プロセス、セルフケアの再構築への援助、障害福祉施策、社会資源活用、多職種連携などを系統的に学修する。さらに、看護専門職者として安全で高い看護を主体的に実践し、多職種連携における役割と機能を認識し、チームの一員として連携・協働できる看護職者に成長するための基盤となる知識と技術を獲得することを目的とする。(関係する垂直軸:人間の理解、看護、健康の状態、生活環境、多職種連携)							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	リハビリテーション概論	到達目標:リハビリテーションの定義と理念、機能障害と分類、多職種連携について理解する 学習内容:コースガイド、リハビリテーションの定義と理念、リハビリテーションについて学習する (千葉科学大学看護学部看護学科 長島緑)					
	2	リハビリテーション看護概論	到達目標:リハビリテーション看護の定義、対象のライフステージと疾病経過別における看護を理解する 学習内容:リハビリテーション看護の定義と専門化、リハビリテーションの対象について学習する (千葉科学大学看護学部看護学科 長島緑)					
	3	障害者の心理	到達目標:自己受容と社会受容を区別し、心理的支援において重要な点を説明できる 学習内容:障害を受容する心理過程について学習する (前 社会福祉学科 椎名清和)					
	4	障害者に対する就労支援	到達目標:職業リハビリテーションの概要を理解し、看護師として留意すべき事柄を説明できる 学習内容:障害者に対する就労支援の概要について学習する (前 社会福祉学科 椎名清和)					
	5	リハビリテーション看護の方法	到達目標:日常生活活動(ADL)、参加と参加制約(社会的不利)、QOLの評価と日常生活援助方法を理解する 学習内容:リハビリテーション看護に必要な評価スケールとアセスメントおよび援助方法を学習する					
	6	運動機能障害のある対象への看護	到達目標:運動機能障害のある対象の特徴と生活の再構築に向けた看護を学習する 学習内容:脊髄損傷患者の自助具の活用や生活の再構築に向けた看護などを理解する					
	7	【演習1-1】 循環機能障害のある対象への看護	到達目標:虚血性心疾患の特徴と社会復帰に向けた看護を理解し、段階的運動負荷を体験する 学習内容:虚血性心疾患の特徴と社会復帰に向けた看護などについて学習する (理学療法学科 縄井清志)					
	8	【演習1-2】 呼吸・循環機能障害のある対象への看護	到達目標:呼吸療法、呼吸管理法と心臓リハビリテーションの段階的運動負荷を体験する 学習内容:呼吸療法、包括的呼吸リハビリテーションと心臓リハビリテーションの段階的運動負荷を学習する (理学療法学科 縄井清志)					
	9	【演習2-1】 運動機能障害のある対象の機能評価と看護援助①	到達目標:運動機能障害における主な評価と測定方法、移動・移乗と歩行補助具の選び方などを習得する 学習内容:運動機能障害の評価と援助方法を学習する (理学療法学科 縄井清志)					
	10	【演習2-2】 運動機能障害のある対象の機能評価と看護援助②						
	11	【演習3-1】 言語機能、嚥下機能に障害のある対象への看護援助①	到達目標:言語機能、嚥下障害のある対象の理解と評価および援助を習得する 学習内容:言語機能評価、摂食・嚥下機能障害のある対象の評価方法、機能訓練や援助を学習する (理学療法学科 林隆司)					
	12	【演習3-2】 言語機能、嚥下機能に障害のある対象への看護援助②						
	13	高次脳機能障害のある対象への看護①	到達目標:高次脳機能障害とは何か、高次脳機能障害の特徴と看護を理解する 学習内容:高次脳機能障害のある対象の看護を学習する (千葉科学大学看護学部看護学科 長島緑)					
	14	高次脳機能障害のある対象への看護②						
15	感覚機能障害のある対象への看護 リハビリテーション看護のまとめ	到達目標:感覚機能障害のある対象の特徴と生活の再構築に向けた看護を理解する 学習内容:視覚障害、聴覚障害のある対象の特徴と生活の再構築に向けた看護を学習する リハビリテーションの看護の振り返りと要点を学習する						
成績評価の方法・基準	定期試験(80%) 課題・演習レポート(20%) これらを総合して60点以上を合格とする。 60点未満の場合は1回のみ再試験を実施する。							
教科書	①リハビリテーション看護 2015改訂版 ②写真でわかるリハビリテーション看護アドバンス			①武田宣子 他 ②林泰史 監修		①医学書院 ②インターメディア		
参考図書	①ナーシンググラフィカ成人看護学③セルフケアの再獲得 ②リハビリテーションビジュアルブック ③新版 ケアを受ける人の心を理解するために			①安酸史子 他 ②落合慈之 監修 ③渡辺俊之		①メディカ出版 ②学研 ③中央法規		
教員からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演習では白衣に着替え、身だしなみを整えて受講して下さい。</li> <li>・レポート課題は提出後に教員からのコメントをレポート内に記載し、科目終了までに授業内で返却します。</li> <li>・講義や演習を通してその人らしく生きることの尊さとリハビリテーション看護とは何かを考えていきましょう。</li> </ul>							